

授業科目	* 公衆衛生学					実務家教員担当科目	○				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	布花原 明子										
授業概要	この授業では、すべての人々の権利である「健康」をまもるための国の責務と、それを実現するための公衆衛生の意義について理解を深めることを目的とします。公衆衛生の理念に基づき、世界、日本や地域が人々の保健対策を講じるために、集団として健康状態をとらえる疫学の概念を理解するとともに、生活環境、地球環境が人々の健康生活に及ぼす影響と対策について概説します。各回では、公衆衛生行政の実務家として自治体保健師の経験を生かして、日々の身近な生活のなかから環境と健康との関連を取り上げ、自分の課題として考えられるよう授業を進めていきます。										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>看護職が公衆衛生を学ぶ意義をふまえたうえで、公衆衛生の理念に基づき、環境と健康との関連について、また主な制度及び対策を理解できる。地域保健行政の根拠となる地域保健法について理解できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々の健康をまもる国の責任と公衆衛生の意義を説明できる。</li> <li>2. 公衆衛生の理念について説明できる。</li> <li>3. 集団の健康をとらえるための疫学の概念を説明できる。</li> <li>4. 環境が人々の健康に及ぼす影響を理解し、環境保健の主要な対策を説明できる。</li> <li>5. 難病・がん対策について説明できる。</li> <li>6. 公衆衛生活動の基本となる地域保健法を説明できる。</li> </ol>										
理想的 レベル	標準的なレベルに加え、公衆衛生の現状や課題について関心をもち参考図書などを用いて積極的に自己学習することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験	100%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	NU11107J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	

授業で示された学習課題に取り組み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたことを配布ノートに加える。

4

## 授業計画

第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>すべての人々の健康と公衆衛生の意義</p> <p>健康の概念、公衆衛生の定義及び予防の概念</p> <p>担当：布花原明子</p>
第2回	<p>公衆衛生の理念</p> <p>プライマリヘルスケア</p> <p>ヘルスプロモーション</p> <p>担当：布花原明子</p>
第3回	<p>集団の健康状態をとらえる方法</p> <p>疫学の概念と公衆衛生との関係</p> <p>担当：布花原明子</p>
第4回	<p>地球環境と健康</p> <p>地球環境が人々の健康に及ぼす影響</p> <p>世界、日本の環境保全の対策</p> <p>担当：布花原明子</p>
第5回	<p>生活と環境・健康1</p> <p>食品及び食の安全に関する主な制度・対策</p> <p>健康食品、特別用途食品</p> <p>担当：布花原明子</p>
第6回	<p>生活と環境・健康2</p> <p>ごみ・廃棄物と健康に関する主な制度・対策</p> <p>担当：布花原明子</p>
第7回	<p>難病対策・がん対策</p> <p>難病・がんとともに生きる人々の療養を支える主な制度</p> <p>担当：布花原明子</p>
第8回	<p>地域保健法</p> <p>日本の保健医療行政の体系</p> <p>保健所と市町村保健センターの役割</p> <p>担当：布花原明子</p>
テキスト	<p>公衆衛生がみえる 2023/2024, メディックメディア</p>

<p>参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公衆衛生マニュアル</li> <li>・ 系統看護学講座：基礎専門分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②（医学書院）</li> <li>・ 厚生労働省 <a href="https://www.mhlw.go.jp/index.html">https://www.mhlw.go.jp/index.html</a></li> <li>・ 環境省 <a href="https://www.env.go.jp/">https://www.env.go.jp/</a></li> </ul>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>課題は、授業時または授業後にコメントをフィードバックする。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>社会のなかで人々の健康がどのように衛られているのか、普段意識していない日常生活を健康の視点から見つめると、環境と健康との深いつながりがみえてきます。そして歴史的変遷のなかで、現在まで人々の生命に深く関わってきている公衆衛生の意義を知ることができます。</p> <p>公衆衛生学の範囲は広く、テキストに網羅されている内容は、本学の「保健統計学」「感染と免疫」「社会保障概説」、「公衆衛生看護学概論」「疫学」「国際看護学」「医療と倫理」及び各看護学概論にも含まれますので、公衆衛生学の科目と関連科目との知識を統合して理解してほしいと思います。</p>